



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 不二製油株式会社

コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 隈部 博史

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6459-0701

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	128,115	8.0	6,421	△0.2	6,403	0.5	4,684	20.3
26年3月期第2四半期	118,628	6.3	6,431	14.3	6,373	17.3	3,894	20.8

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 4,801百万円 (△46.2%) 26年3月期第2四半期 8,928百万円 (170.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	54.50	—
26年3月期第2四半期	45.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	206,075	140,196	64.7	1,550.59
26年3月期	202,206	135,124	63.3	1,490.00

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 133,288百万円 26年3月期 128,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,700	11.7	15,000	△1.6	14,600	△1.3	9,000	10.2	104.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	87,569,383 株	26年3月期	87,569,383 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	1,609,500 株	26年3月期	1,609,330 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	85,959,978 株	26年3月期2Q	85,960,329 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融・財政政策の効果を背景にして、企業収益の改善や株価の上昇が継続されましたが、貿易収支の赤字継続や消費税増税に伴う駆け込み需要への反動もあり、経済回復の遅れが見られました。一方、海外では、米国経済の回復が見られ、期後半にはドル高が急速に進みましたが、新興国経済の成長鈍化や特定地域における紛争など、先行き不透明な情勢が続きました。

当社グループを取り巻く国内食品業界では、円安による原料価格上昇が継続し、厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループは新中期経営計画「ルネサンス不二2016」を策定し、「グローバル経営の推進・加速」「技術経営の推進・加速」「サステナブル経営の推進・加速」を基本方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,281億15百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は64億21百万円（前年同期比0.2%減）、経常利益は64億3百万円（前年同期比0.5%増）、四半期純利益は46億84百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(油脂部門)

国内では、業務用斗缶を中心とした調合油の販売数量が減少しましたが、ヤシ油・パーム油・チョコレート用油脂の販売数量増加および販売価格上昇により、増収・増益となりました。

海外では、米国・東南アジア・中国におけるチョコレート用油脂の販売数量が増加し、全体的な販売価格上昇と円安による円換算額の増加も寄与して、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は495億59百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益（営業利益）は26億79百万円（前年同期比75.9%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、チョコレートは、スイートチョコ・アイスコーティングチョコ・成型チョコの販売数量が増加して増収となりました。クリーム・マーガリンは増収、調製品は減収となりましたが、製菓・製パン素材部門全体の売上高は増収となりました。採算面では、全般的に原料価格が上昇し、減益となりました。

海外では、東南アジアのチョコレート・クリーム・マーガリン・ショートニングおよび中国のマーガリン・ショートニング・フィリングが増収となり、全体で、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は591億5百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益（営業利益）は34億66百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、食肉・健康食品・水産市場・惣菜・加工食品・発酵培地用途の販売数量が減少しましたが、中国での販売が増加して、増収となりました。大豆たん白機能剤は、輸出・飲料用途が増加して増収となりました。大豆たん白食品は、即席麺用途が増加しましたが、小売市場向けが減少して減収となりました。豆乳は、新製品の販売が寄与して増収となりました。全体の売上高は、増収となりましたが、大豆たん白素材の原料高による採算悪化の影響により大きく減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は194億50百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は2億75百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ38億69百万円増加し、2,060億75百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少41億26百万円、受取手形及び売掛金の増加18億87百万円、たな卸資産の増加25億26百万円、有形固定資産の減少7億73百万円、投資有価証券の増加20億60百万円、退職給付に係る資産の計上10億32百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、290億26百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加51億3百万円、その他有価証券評価差額金の増加12億11百万円、為替換算調整勘定の減少16億94百万円であります。

この結果、自己資本比率は64.7%、1株当たり純資産は1,550円59銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ41億26百万円減少、前第2四半期連結累計期間末に比べ61億92百万円減少し、104億52百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で26億57百万円減少し、4億9百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益64億75百万円、減価償却費41億46百万円等による収入が、たな卸資産の増加額33億45百万円、売上債権の増加額25億90百万円、仕入債務の減少額13億80百万円、法人税等の支払額20億11百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で5億45百万円支出が増加し、34億11百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出26億74百万円、関連会社株式取得による支出5億35百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で26億19百万円支出が減少し、8億25百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額11億17百万円、長期借入金の返済による支出7億9百万円が、長期借入れによる収入9億83百万円、短期借入金による資金調達額の純増加額3億13百万円等の収入を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日発表の通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が718百万円増加、退職給付に係る負債が1,668百万円減少し、利益剰余金が1,536百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,651	10,525
受取手形及び売掛金	48,349	50,236
商品及び製品	20,556	22,678
原材料及び貯蔵品	20,840	21,244
繰延税金資産	1,419	1,105
その他	3,744	5,336
貸倒引当金	△85	△69
流動資産合計	109,476	111,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,966	28,257
機械装置及び運搬具（純額）	28,221	26,839
土地	15,951	15,894
建設仮勘定	1,584	2,925
その他（純額）	1,205	1,240
有形固定資産合計	75,930	75,157
無形固定資産		
投資その他の資産	1,119	1,065
投資その他の資産		
投資有価証券	12,763	14,823
退職給付に係る資産	-	1,032
繰延税金資産	135	156
その他	2,971	2,920
貸倒引当金	△192	△138
投資その他の資産合計	15,678	18,795
固定資産合計	92,729	95,018
資産合計	202,206	206,075

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,569	19,753
短期借入金	19,727	19,892
1年内償還予定の社債	20	5,010
未払法人税等	2,234	1,589
賞与引当金	1,894	2,103
役員賞与引当金	60	-
その他	6,188	7,320
流動負債合計	51,694	55,669
固定負債		
社債	5,000	-
長期借入金	4,192	4,124
繰延税金負債	2,270	3,830
役員退職慰労引当金	28	31
退職給付に係る負債	3,280	1,644
その他	614	579
固定負債合計	15,387	10,210
負債合計	67,082	65,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	94,835	99,938
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	124,621	129,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,585	4,796
繰延ヘッジ損益	79	555
為替換算調整勘定	379	△1,315
退職給付に係る調整累計額	△586	△471
その他の包括利益累計額合計	3,458	3,563
少数株主持分	7,044	6,907
純資産合計	135,124	140,196
負債純資産合計	202,206	206,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	118,628	128,115
売上原価	96,294	105,720
売上総利益	22,334	22,395
販売費及び一般管理費	15,902	15,973
営業利益	6,431	6,421
営業外収益		
受取配当金	106	111
為替差益	102	203
その他	249	252
営業外収益合計	459	566
営業外費用		
支払利息	239	175
持分法による投資損失	152	256
その他	124	152
営業外費用合計	517	584
経常利益	6,373	6,403
特別利益		
受取保険金	-	232
関係会社出資金売却益	-	39
特別利益合計	-	272
特別損失		
固定資産処分損	51	48
特別調査費用	-	109
事務所移転費用	-	41
特別損失合計	51	200
税金等調整前四半期純利益	6,322	6,475
法人税、住民税及び事業税	2,174	1,400
法人税等調整額	28	114
法人税等合計	2,202	1,514
少数株主損益調整前四半期純利益	4,119	4,960
少数株主利益	225	276
四半期純利益	3,894	4,684

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,119	4,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	1,210
繰延ヘッジ損益	△602	475
為替換算調整勘定	5,042	△1,878
退職給付に係る調整額	-	114
持分法適用会社に対する持分相当額	114	△81
その他の包括利益合計	4,809	△159
四半期包括利益	8,928	4,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,996	4,790
少数株主に係る四半期包括利益	932	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,322	6,475
減価償却費	4,292	4,146
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△314
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	231
受取利息及び受取配当金	△148	△153
支払利息	239	175
関係会社出資金売却損益(△は益)	-	△39
売上債権の増減額(△は増加)	3,418	△2,590
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,608	△3,345
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,376	△1,380
その他	△904	△1,002
小計	6,250	2,203
利息及び配当金の受取額	149	153
利息の支払額	△258	△168
法人税等の支払額	△3,075	△2,011
保険金の受取額	-	232
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,066	409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,781	△2,674
連結子会社株式取得による支出	△4	-
関連会社株式取得による支出	-	△535
非連結子会社株式取得による支出	-	△113
連結の範囲の変更に伴う関係会社出資金の売却による支出	-	△29
その他	△81	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,866	△3,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,488	313
長期借入れによる収入	-	983
長期借入金の返済による支出	△637	△709
社債の償還による支出	△10	△10
配当金の支払額	△1,117	△1,117
その他	△191	△286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,444	△825
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,051	△298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,193	△4,126
現金及び現金同等物の期首残高	18,837	14,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,644	10,452

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,815	54,522	19,290	118,628	—	118,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,717	356	273	6,348	△6,348	—
計	50,533	54,879	19,564	124,976	△6,348	118,628
セグメント利益	1,523	4,271	636	6,431	—	6,431

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	79,852	22,305	8,880	7,589	118,628	—	118,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	16,869	348	14	17,250	△17,250	—
計	79,870	39,175	9,229	7,603	135,878	△17,250	118,628
セグメント利益	5,010	1,508	69	90	6,679	△247	6,431

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ

米州：米国

欧州：ベルギー

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,559	59,105	19,450	128,115	—	128,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,799	155	314	7,269	△7,269	—
計	56,358	59,260	19,765	135,384	△7,269	128,115
セグメント利益	2,679	3,466	275	6,421	—	6,421

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	83,283	25,918	10,021	8,891	128,115	—	128,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	15,001	178	55	15,265	△15,265	—
計	83,314	40,919	10,199	8,947	143,380	△15,265	128,115
セグメント利益	3,788	1,403	301	785	6,280	141	6,421

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ

米州：米国

欧州：ベルギー

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間より、新規事業創出と確実な事業化を図るため、組織改定を行っております。これに伴い、新規事業に係る費用について各報告セグメントへの配賦率を変更しております。

また、連結子会社であります不二製油(張家港)有限公司は、従来「油脂」に含めておりましたが、同社における「製菓・製パン素材」の量的な重要性が増したため、各報告セグメントの経営実績の実態をよりの確に把握することを目的に、第1四半期連結会計期間より同社の業績を「油脂」及び「製菓・製パン素材」の報告セグメントに区分する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法及び変更後の区分方法により作成したものを記載しております。